

令和6年度第2回ぎふ清流文化プラザ評価員会議 議事録

○日時 : 令和6年2月26日(水) 13:30～15:00

○場所 : 4階 第3練習室

○出席者:

【評価員】

岩井弘栄、菅田文子、谷口真由美、野松敏雄、洞田厚男

【指定管理者 (公財) 岐阜県教育文化財団】

北川常務理事、田中理事兼障がい者芸術文化支援センター長、佐橋事務局長、柳経営管理課長、加納プラザ事業課長、須田県民文化課長、竹内健康長寿課兼施設管理課長

【岐阜県(文化創造課)】

林管理調整監、岩田文化施設係長、後藤文化振興係長、高島文化施設係主事

【評価員会議 議事録(質疑応答・意見)】

○令和6年度第3四半期までの指定管理業務報告について

＜岩井評価員＞

施設も30年が経過し、維持管理が必要になってくる頃かと思う。修繕について、別紙1を見ると60万を超える修繕についても指定管理者で行っている案件があるが、こういった分けなのか。

＜佐橋事務局長＞

金額が60万を超える工事については県に協議の上行っています。

＜岩井評価員＞

県が行う工事、指定管理者が行う工事の区分けを明確にした方が良いと感じる。その境界がなし崩しになるのは避けられたい。

＜野松評価員＞

事業文化のコンセプトの元は条例にあるのか、指針にあるのか。

＜佐橋事務局長＞

条例にある施設の設置目的を達成するための事業コンセプトを設定しています。

<野松評価員>

事業計画書の書き方について、①のみコンセプトがあるように読み取れる。それぞれの書き方について、施設と事業のコンセプトを整理した方が良い。

<谷口評価員>

議事録を事前に配布してほしい

また、イベントの企画に際して、出演者を決定するための指標等があれば教えてほしい。

<事務局>

次回より前回の議事録を資料として配布させていただきます。

<菅田評価員>

施設の目指す状況について教えてほしい。収入につながらなくても減免対象の団体からたくさんの方が利用があった方がよいのか。

<佐橋事務局長>

施設の管理者としては収入につながればありがたいという一面はあります。しかしながら、施設のコンセプトとして、若者や障害のある方に利用しやすい施設でありたいという思いがあるため、そういった施設の在り方を目指しています。

<洞田評価員>

プラザの運営委員会の議事録について、可能であれば公開してほしい。

令和7年度事業計画について

<谷口評価員>

事業計画を見る限り、日常生活にスポットを当てた事業が少ないように思う。音楽や絵画単体では文化は成り立たない。日常からの取り組みを提案できるような企画があるとよいのではないか。

<野松評価員>

災害の対応に関する記載が少ない。昨今は規模の大きな地震も多発しており、南海トラフが発生する確率も以前より上がっている。危機管理に対する意識を高めた方がよい。

<岩井評価員>

20代向けのイベントが少ないように感じる。Eスポーツの事業はとても良いと思うので若い世代をターゲットにした企画を増やせるとよい。